

INFORMATION お知らせ

秦和会 からののお知らせ

ご存じですか障害者雇用率制度

平成30年4月1日から障害者雇用義務の対象に精神障害者が加わり、あわせて法定雇用率は、民間企業では2.0%から2.2%に変わったのをご存じですか？
 障害者雇用率制度は、障害をお持ちの方が普通に地域で暮らし、地域の一員として共に生活できる「共生社会」実現の理念の下、全ての事業主には、法定雇用率以上の割合で障害者を雇用する義務がある制度で、その雇用率が0.2%増加しました。わずか0.2%ですが、神奈川県を例にとると約3000人程の障害者雇用者増が見込まれています。はたのグループでは障害をお持ちの方も自分らしく働ける社会実現のため、就労支援サービスを4事業所で提供しています。障害のある方と企業をつなげ雇用創出を積極的に支援していきます。

障害者雇用は「りんく」におまかせ！

「働きたい」「雇用したい」お気軽にご相談ください！

就職に向けてのスキルアップ・就職活動のサポートを行っています。また、障害者雇用をお考えの企業様も、ぜひご相談ください。



就業移行支援事業所 りんく
 TEL: 0463-75-6308



成和会 からののお知らせ



社会福祉法人 成和会
**就労継続支援B型
 利用者募集！**

～あなたの“働く”をサポートします～
 就労継続支援B型とは…
 生産活動を通じて就労に向けた支援や生活面支援を行います

ジョブライフはたの (秦野市三屋)

仕事内容：部品の検品／内職作業／売店業務など
 TEL: 0463-75-0118

にこにこパン工房 (秦野市清水町)

仕事内容：パンの製造・販売／接客／事務作業など
 TEL: 0463-84-5556

はあとすまいる (海老名市今里)

仕事内容：パンとお菓子の製造・販売／接客／喫茶業務など
 TEL: 046-232-8810

平成30年 家族教室のお知らせ

日時：6月16日(土) 午後 1:30～3:30まで
 場所：秦野病院ケアセンター デイケア内

はたのグループでは、どなたでもご参加いただける家族教室を定期的を実施しております。
 今回は、秦野病院の入院治療の治療方針や治療目標、多職種のかかわりや一日の過ごし方など、入院治療とはどんな感じなのか具体的にご紹介いたします。お申し込みは不要ですので、多くの方々のご参加をお待ちしております。

講演：「統合失調症の入院治療」
 講師：秦野病院 院長 笠原友幸

紹介：「当院における統合失調症の入院治療」
 説明：秦野病院 看護部副部長 堀部止

発行者

はたのグループ 広報チーム
 0463-75-0032
 所在地：秦野市三屋 131 番地

編集後記

表紙写真にご協力いただいた職員の皆さん

はあとすまいる 支援員 海澤 徹	秦野病院 医師 龍田 哲行	秦野病院 看護師 諸星 孝之
秦野病院 精神保健福祉士 中村 いのり	秦野病院 事務課 主任 佐藤 奈津子	

広報誌「心の笑顔」創刊号のご感想はいかがでしょう。編集委員一同、多くの皆様に「心の笑顔」をお届けできるよう頑張っておりますので、応援よろしくお願致します。



はたのグループ広報誌 心の笑顔

vol. 1
 2018年5月
 創刊号

はたのグループの、今とこれからをお届けする広報誌

はたのグループ
 医療法人社団 秦和会・社会福祉法人 成和会

INDEX

- 御挨拶 「創刊にあたって」
 秦野病院 院長 笠原 友幸 P1
- 対談 P2
 秦野病院「笠原友幸院長」
 ×「長田祐子看護部長」
- シリーズ はたのグループのリーダー達・・・P3
 vol.1「理事長 高橋幸枝インタビュー」
- ・1分でわかる！職員たちのQ&Aコーナー「学生時代の部活は？」P4
 - ・SPOTLIGHT 職員紹介「荒木美咲」&「猪股通隆」..... P4
 - ・はたのグループの事業所..... P5
 「はたの渋沢クリニック」&「にこにこパン工房」&「秦野病院 外来」
 - ・はたのグループのサービス 安心のサポート体制 P6
 - ・INFORMATION BACK PAGE
 「秦和会からののお知らせ」&「成和会からののお知らせ」



御挨拶

「創刊にあたって」

秦野病院 院長 笠原 友幸

はたのグループの活動を広く知っていただくと共に
グループ内職員の相互理解のために

高橋幸枝理事長がここ秦野の地に「秦野病院」を開設したのは1966年でした。それから半世紀50年を超える中で、成和会の設立、中央林間や渋沢へのクリニックの開設、居住施設や就労支援施設の開業などを経て、秦和会、成和会一体となった「はたのグループ」は大きく成長してまいりました。これもひとえに患者様、利用者様、ご家族様、地域の皆様、及び関係機関の皆様の協力のおかげと深く感謝しております。

医療法人社団秦和会では「信頼される精神医療」をモットーに、地域に根ざした精神科領域での医療サービスの提供を心掛け、単に心の病を治すということに留まらず、患者様、利用者様の家庭生活・地域生活のサポート、行政、地域の関係諸機関との連携、社会資源の利用、社会復帰、職場復帰の促進など、幅広い活動を行ってまいりました。また、グループ内の社会福祉法人成和会も秦和会と連携して、障害福祉の分野を中心に様々なサポートを行ってまいりました。

高橋理事長が秦野病院を開業した半世紀前からみると、精神科医療、障害福祉を取り巻く状況は大きく変化してきました。医療、福祉、介護の総合的な提供が強く求められています。今回「はたのグループ」の活動、取り組みを地域の皆様、関係皆様に広く知っていただくと共に、グループ内職員が全体の方針や動き、互いの職務内容や人柄を理解するための一助となるよう、グループ広報誌「心の笑顔」を作成することとなりました。

今後も広報誌を発行することにより、皆様にとって少しでも有意義な情報を発信していくことができるよう、努めてまいります。ホームページやパンフレットと合わせて、少しでも多くの皆様にご覧になっていただき、厳しくも温かいご意見、ご感想をお寄せいただければ幸いです。これからも時代の要請に応じた医療・福祉サービスを提供するために「はたのグループ」一丸となって、力を合わせ進んでまいりたいと思います。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

対談

秦野病院

笠原友幸 院長 × 長田祐子 看護部長

はたのグループについて

司会：はたのグループのモットーは「心の笑顔」ですが、その意味をお聞かせください。

院長：心の病を治すというのは患者様、利用者様が可能な限りより良い生活、人生を歩むところに目標があると思います。心の病というのは、ご本人の体調、日常生活の変化はもとより、人間関係、仕事、会社、社会など多くの要因によって影響されています。それらを考慮しながら治療を進めていかなければなりません。「心の笑顔」というのは私たちスタッフは様々なサービスを駆使して患者様、利用者様がより良い生活、人生を取り戻すことを、すなわち心の笑顔を取り戻すためのお手伝いをしたいという思いが込められています。

長田：患者様、利用者様に笑顔でいただけるには、私達自身も笑顔でいたいと思っています。笑顔で働ける職場づくりを大切にしています。はたのグループのシンボルマークを見ていただくと、ハートの中に心の笑顔です。ピンク色は秦野病院の前の桜の色です。名札や名刺の文字は茶色で、大地の色です。秦野の桜のように、はたのグループも地域に根付いていきたいです。

司会：秦野病院の基本理念「信頼される精神医療」についてお聞かせください。

院長：私が考える信頼を得るために必要なものとしてまずは見た目の印象、身だしなみや礼儀があげられます。そして温かみのある接し方、患者様の話に対して傾聴、共感し、ニーズをくみ取り、それに対して誠実な対応を行うことが大切だと思います。また、



知識、経験に基づく適切な医療を提供し、適切な説明を行うことは医療機関としての責務であると思います。

長田：時代や社会情勢とともに、医療の現場も変わってきていることもあると思うのですが、変化はあっても、これからも信頼されるためには、気持ち、心が大切ではないでしょうか。病院へいらしていただく際は、ご相談したいこと、困っていらっしゃることもあるのだと思います。そのお気持ちを少しでも汲み取る努力をしていきたいと思っています。お一人おひとりに向き合える医療、支援の現場でありたいと思います。

司会：地域の方々に対して、どのような存在でありたいですか？今、地域に何を発信していきたいですか？

院長：秦野病院は現理事長が開院した当初より患者様の社会復帰が治療目標でした。はたのグループではその伝統を引き継いで社会復帰施設の充実ばかりでなく、福祉、介護の面でも患者様、利用者様のご要望に応じて参りました。精神科という敷居が高く、心の病だけを診るところと考えられがちですが、身体疾患の患者様や高齢者などにも深く関連していると思います。秦野病院では、現在も週に4日内科外来を開いておりますが、今後、高齢者のためのリハビリテーション提供も検討しております。これからも身近で利用しやすい医療機関になれるように取り組んでまいりたいと思います。

長田：はたのグループは、医療、福祉、介護分野にわたり、総合的なサービスを行っております。患者様たちはもちろんのこと、地域の皆様のニーズをしっかりと受け止められるよう進んでまいりたいと思います。まずは知っていただいて、身近でお気軽にご相談いただけたら、大変嬉しいです。現在も、9月の納涼祭は大勢の方にご来場いただいておりますが、今後も地域社会に貢献できるようなグループでありたいと考えております。これからもよろしくご協力致します。

<シリーズ>

はたのグループのリーダー達 vol.1

医療法人社団秦和会
社会福祉法人成和会

理事長 高橋 幸枝

TOP
INTERVIEW

医療法人社団秦和会、社会福祉法人成和会
双方の理事長であり、「はたのグループ」全
体をリードする高橋幸枝理事長。現在101
歳という年齢ながら、常にグループ全体の動
向に目を向け、職員全体を牽引する高橋理事
長に、秦野病院（秦和会）、成和会の開設経
緯や、これからはたのグループへの期待に
ついてお聞きしました。



はたのグループへの想い

Q

秦野病院を開設するきっかけは？

A

「私がここ秦野の地に「秦野病院」を開業したのは、昭和
41年の2月でした。その前は、現在秦和会のクリニックの
ある中央林間で10年間、内科の診療所を開設し忙しく働
いていましたが、これから物質的に豊かになっていく時代
の中で、心に悩みを抱える方が多くなると考え、精神科病
院の開業を目指すことになったわけです。

精神科の病院なら空気が良く、山が見えて、都会の喧騒
から離れた静かな所ということで各地を探し、現在の秦野
病院のある土地を購入しました。当時、病院の周りは、草
と石ころばかりで、人家もほとんどありませんでした。」

Q

社会福祉法人成和会を創設したきっかけは？

A

「秦野病院の開業当初は、病院は生活の場であり、作業も
院内で行うことが当たり前の時代で、長期に入院する患者
様が多くいらっしゃいました。私は患者様の社会復帰を実
現するためには、少しでも病院の外、地域で生活するた
めの訓練を行う場が必要であると考え、平成7年に生活

訓練施設である『はたの援護寮』、授産施設である『は
たの授産所』を中心として社会福祉法人成和会を創設し
ました。あれから20年以上が経過し、援護寮からグルー
プホームへの移行や、パン製造や販売をする作業所も開
設するなど、多くの利用者様にご利用いただいています。
大変嬉しく思っております。」

Q

これからの「はたのグループ」に期待することは？

A

「医師として歩み始めてから半世紀以上、内科医、精神科
医として、自分の人生の大半を患者様、利用者様と共に過
ごしてきました。ご家族や地域の皆様、多くの職員皆様に
助けられ、ここまで健康で生きて来られたことに心から感
謝しております。病院経営は大変でしたが、患者様たちに
「楽しかった、よかった」と思ってもらいたい、という気持
ちだけでしたから、「この仕事は大変だな」と思ったことは
一度もありません。「はたのグループ」で活躍してくださる
皆様方には、自分たちの力、患者様たちの力を信じ、自ら
枠を設けることをせずに、前を向いて進んでいただきた
いと思います。「求めよ、さらば与えられん」。神様は私
たちの数々の挑戦を必ず見守ってくださっていると信じてい
ます。皆様のご活躍を期待しております。」

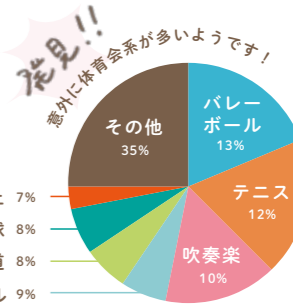
1分でわかる! みんなのあれこれ、質問してみました。

職員たちの Q&A コーナー

QUESTION &
ANSWER

Q. 学生時代の部活は？

回答比率図

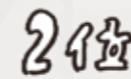


A.



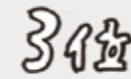
1位 バレーボール 14人

ボール拾いはつま先立ちが当たり前とか、いろい
ろ今は大違いでした。



2位 テニス 12人

学年で1.2を争う日焼けをしていたため、夜のお祭
りの写真には顔が闇に紛れて写りませんでした。



3位 吹奏楽 10人

演奏で盛り上がり欠け、アンコールは自分たち
だけでコールして演奏したのを覚えています。

その他ユニーク回答!

沖縄研究会

年に数回、沖縄へ旅行
に行っており、年に1回沖
縄に関する適当なこと
を発表するサークルで
した。

英文タイプ部

文章を打つ練習などせ
ず、タイプを打って、
モナ・リザとか絵を作
成していました。



職員紹介 STAFF INTRODUCTION

はたのグループではたらくスタッフについてご紹介!



映画鑑賞と
美味しいもの巡りが
好きです!



社会福祉法人 成和会 ジョブライフはたの
精神保健福祉士 勤続5年

荒木 美咲 ARAKI MISAKI

仕事の楽しさは何ですか?

メンバーさんと力を合わせ、試行錯誤しながら取り組め
ることです。

はたのグループの良さは?

穏やかで明るい雰囲気です。社会復帰をするためのサービ
スが充実しています。

最後に皆様に一言どうぞ

これからも頑張っていきますので、応援宜しくお願い致します。



山のある
風景を眺めるのは
心が癒されます。

医療法人社団 秦和会 秦野病院 看護部 2 病棟
看護師 勤続9年

猪股 通隆 INOMATA MICHITAKA

仕事の楽しさは何ですか?

退院後の患者さんの安らいだ表情など拝見すると、仕事
のやりがいを感じます。

はたのグループの良さは?

人間関係が良い。社会復帰施設が多く退院支援を考え
やすいです。

最後に皆様に一言どうぞ

趣味の写真は病院 1F に展示させてもらっています。
皆さんぜひご覧下さい。



はたのグループの事業所 DEPARTMENT INTRODUCTION



1. どのようなことを行っている事業所(部署)ですか？
2. 事業所(部署)の売り・強みは何ですか？
3. 事業所(部署)の雰囲気はどのような感じですか？



通院治療

医療法人社団 秦和会

はたの渋沢クリニック

1. 八木敬子院長をはじめとした4名の医師が診療を行っており、臨床心理士によるカウンセリング、認知行動療法を取り入れたプログラムを実施しています。
2. 患者様との会話を重ねる中で、一人一人の悩みを解決していくことを重視しています。患者様の状態、ご要望等に合わせて、秦野病院との積極的な連携も図っております。
3. 笑顔あふれるあたたかいアットホームなクリニックです。「ストレス社会の中で悩んでる方の手助けができれば」と考えています。



就労支援

社会福祉法人 成和会

にこにこパン工房

1. 就労継続支援 B 型のサービスを提供しています。パンの製造・販売・接客が主な仕事内容で、その経験を活かして毎年多くの利用者が就職しています。
2. パン作りや接客、外部販売やパソコンでのデータ入力など利用者の方々が「やってみたい」と思えるような仕事が必ずあることです。パンの種類も豊富に取り揃えています。
3. 働いている利用者さんは10歳代から60歳代と幅広く、働く上で年齢がネックになるようなことはありません。職員と利用者さんが一体となって、和やかな雰囲気です。お近くにお越しの際は、ぜひ、お立ち寄り下さい。



通院治療

医療法人社団 秦和会

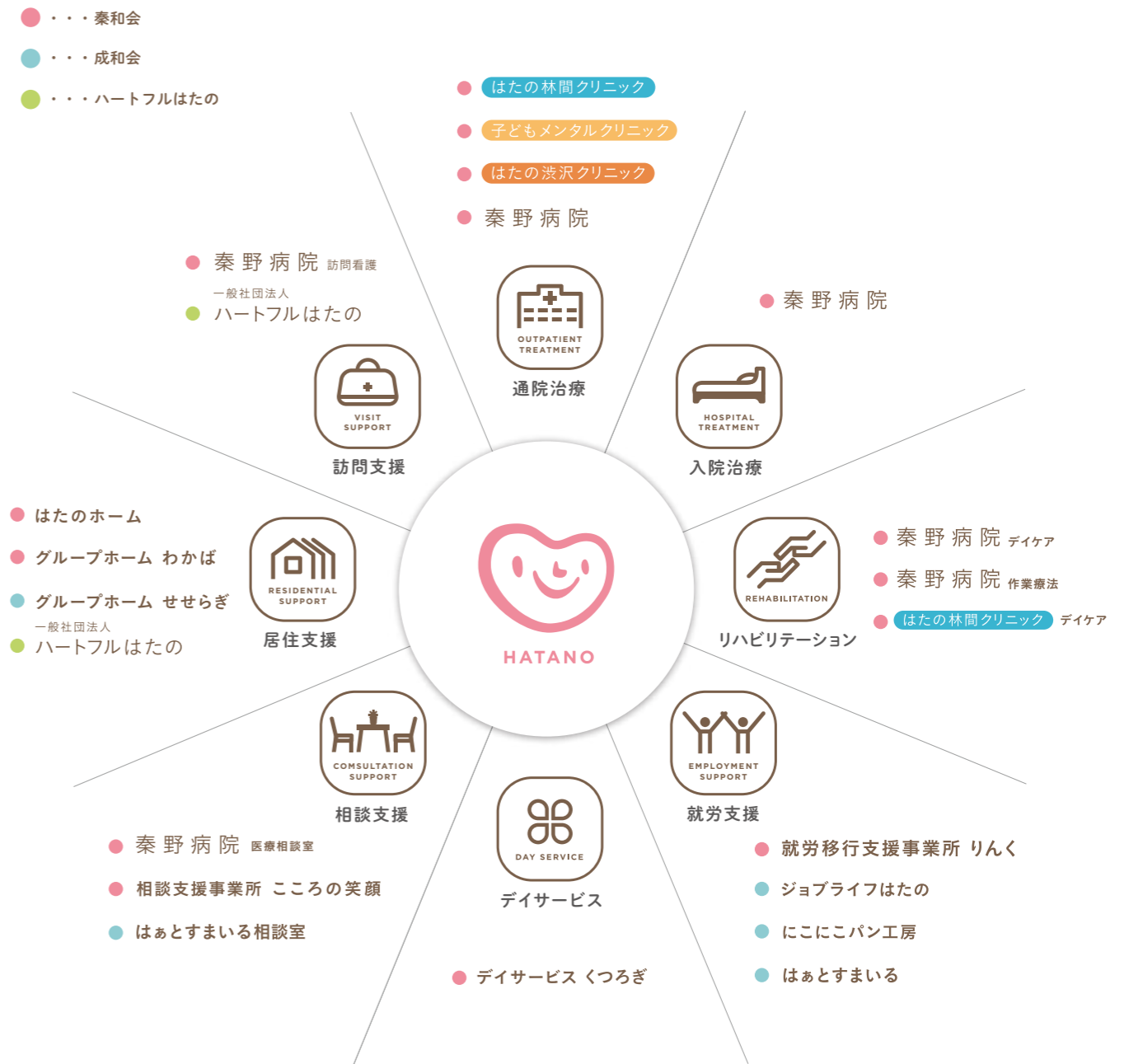
秦野病院 外来

1. 外来診療が行われています。それに伴って、初診予約の受付と調整と検査(レントゲン・心理・脳波や心電図等)の調整を行い、患者様に関わるほか又、在宅の患者様に対して訪問看護も行っています。
2. 医師、事務、薬局、医療相談室等と連携をとり、チームワーク良く仕事ができているのが外来の強みです。おいでいただいた患者様が安心して診療が受けられるように心がけ、来ていただいた患者様にまた来たいと思っていただけるよう仕事に臨んでいます。
3. 外来看護師同士のコミュニケーションも良く、穏やかで、あたたかな雰囲気です。



はたのグループのサービス 安心のサポート体制

心の悩みをお持ちの方のためにわたしたちのサービスをご活用下さい。



まずは、秦野病院 医療相談室にお問い合わせください。

お問い合わせ 0463-75-0032

この他にも地域の社会資源と多様に連携しています。